

東京都精神保健福祉家族会連合会

(東京つくし会)

〒156-0056 世田谷区八幡山

3-33-1 林マンション301

TEL/FAX:03-3304-1108

<http://www.ttsukushi.sakura.ne.jp/>

発行者 眞壁 博美

2017. 8. 15 第325号

つくしだより



平成29年8月号

「マル障（心身障害者医療費助成制度）を精神障害者も対象にする」平成30年度東京都概算予算要望書を東京都に提出！

都連副会長 植松和光



真夏の暑い中、7月21日（金）午前11時から都庁第二庁舎会議室において、3月30日に開催された平成29年第1回都議会本会議で全会一致で採択された、心身障害者医療費助成制度を精神障害者も対象にするための予算要望書を東京都福祉保健局医療助成課の菱田彰医療助成課課長代理（医療調整担当）に手渡しました。

当日は、真夏の蒸し暑い中、加藤真規子東京マル障の会会長、東京つくし会眞壁博美会長など46名が参加しました。

参加者からは、「子供も50代になり、私自身ももうすぐ80歳です、わずかな年金は、自分自身の生活と健康を守るのが精一杯で子供の健康を気遣う余裕はとてありません。」と切実に訴えていました。



521団体から賛同の署名を要望書と一緒に提出！

要望書と併せ、私たちの、マル障（心身障害者医療費助成制度）を精神障害者も対象にする要求に賛同する署名521団体分を本田副会長から東京都に手渡しました。

各団体の皆様の力強いご支援に心より感謝申し上げます。今回の団体署名は家族会関係の53、精神障害者事業所147、医療機関54、他の障害者団体・学校法人団体等267と多方面からいただきました。

この賛同署名大きな力を糧にマル障を実現する活動の輪を一層広げていきます。皆様、共にかんばりましょう。



西ブロック会議の開催

都連副会長 川崎洋子

7月24日(月) 13時半から16時まで、世田谷の「さくらぼーと」でおこなわれました。

今夏は例年になく不順な天候で、体調を崩しやすい毎日ですが、理事を含め10家族会17名の参加となりました。

東京つくし会からの報告として、本田副会長から①マル障の取組として、評議員会で決議した決議文が読み上げられました。内容については、署名活動などで良く理解されていて、ぜひ実現させたいとの思いが募りました。必要なら要望行進も辞さないくらいの熱意が伝わりました。②今年度の都議会への要望活動については、政党への懇談会ですが、7月26日は「都民ファースト」と公明党が予定され、共産党が8月22日(後に25日に変更)が報告され、参加のお願いをしました。③50周年記念に関しては、式典、記念誌の発行などについて川崎から説明しました。

休憩をはさんで各会からの報告をしました。様々な意見ができました。

- ① 会長はじめ会員が高齢者。
- ② 例会の会場取りが大変。
- ③ 会報を160通ほど毎月出しているが、楽しみながらやっている。
- ④ 梅ヶ丘病院に関する課題。

⑤ 病院家族会なので、事務所は病院内においてもらっているが、今まで助成金がなかったの、バザーで収入を得ていたが、今回福祉団体助成金がもらえるようになった。

⑥ 休会していたが、あらたにNPO法人として活動を始める。

⑦ 地域にクリニックは多いが、病院がないことが問題。

⑧ 高齢当業者は居場所が少ない。そこで家族会は居場所をつくり、補助金もないところで何とか頑張っている。

⑨ 会長が交代した。等々でした。

2017関東ブロック大会 in 埼玉のお知らせ

都連会長 眞壁 博美

7月31日(月)午後、東京都障害者福祉会館にて、関東ブロック会長会議を開催しました。1都6県の県連の活動・情報交流をしています。埼玉県連から、今年度の関東ブロック大会の案内がありました。今から予定してください。

◆テーマ「家族の力で地域を変える！」〜精神障害があっても暮らせる地域をめざして〜

◆日時：平成29年11月2日(木) 10時〜16時

◆会場：大宮ソニックスティール小ホール(さいたま市大宮区桜木町1の7の5)

◆基調講演 II 伊藤順一郎氏

シンポジウム II 家族・精神科医・支援者等

◆参加費無料、定員480名(要申込み)

家族会訪問

「渋谷太陽の会」の7月定例会

都連副会長 本田 道子

「渋谷太陽の会」では毎月第2金曜日の午後定例会を開催しています。

場所は渋谷保健所の講堂をお借りしておりおかげさまで場所の確保での苦労はせずですんでおりこれは本当にありがたいことで感謝しつつ毎月利用させていただいています。

ただこの7月はその講堂の隣のお部屋に都連副会長の川崎洋子さんをお迎えし「家族が精神病と言われたら」というテーマでお話をさせていただきました。

太陽の会では研修の後半では必ず皆で懇談会をもつことが定例化しており川崎さんはこちらにも参加してくれたのがうれしかったことです。

「どこまでも本人中心で」「人生の主役は本人」と何度も話の中に出てきて淡々と語る川崎さんを改めて尊敬しました。

懇談会も皆の話を整理しながら進めてくれて渋谷の会らしい「アットホーム」な訪問をしてもらいました。すばらしい先輩がすぐ身近にいることに気づかせてもらい私にもとても幸せな一日となりました。



7月21日の平成30年度予算要望で

「東京に暮らす精神障害者の医療費の負担度に関する調査」結果について東京都に報告

都連副会長 植松 和光

当会では、今回のマル障の要望を行うにあたり、実感としてはわかっているが、具体的数字で精神障害者の心身の健康を調査したことがありませんでした。当会が調査を分析した結果を平成30年度予算要望のときに本田副会長から、東京都福祉保健局医療助成課の担当にその概要を説明しました。調査の結果見えてきたことは、想像以上にひどい状態が浮き彫りされました。その一部を紹介します。

◎精神障害者の平均収入

月額71、391円

◎経済的事情で受診できない主な理由

家族に負担37・9% 生活苦32・9%

◎日中活動の場所

・行き場所なしが30・4%と一番多く次いで、就労継続支援B型事業所26・3%を凌いでいます。

◎収入状況

・障害年金64・6%と一番多く年金に頼らざる得ない生活となっています。

調査報告の詳細につきましては、当会が発行しました、報告書をご覧ください。

なお、東京つくし会のホームページで申し込み用紙を掲載しております。

理事補佐に選ばれて

大山 竹彦

7月7日（金）は二つのイベントが重なりました。病気で一人暮らしを続けていた息子の先生とワーカーさんが変わりました。その新しいワーカーさんから「就労を考えませんか」と言われ、7日は息子が就労に踏み出す作業所の見学会の日でした。

父親は東京つくし会理事補佐に選ばれた日です、今日までも色々ありましたが、息子の「次」を考えた時、父親なりの準備と動きをどこに求めようかと思う時に、東京つくし会のお話が流れてきました。息子が病気になるまで以来、八王子市保健所、わかさ家族会、東京武蔵野病院家族会・しいの実会、恩方病院家族教育会、そして現在八王子わかさ家族の会と勉強を続けてきました。基本は家族会・東京つくし会にあってと思います。この度の「精神障がい者も東京都心身障害者医療費助成制度（マル障）の対象とする請願」への取り組みは当事者・家族・支援者にとって大きな自信に繋がるものだと思います。当事者・家族の明日を考えると、今回の活動をモデルに、つくし会理事補佐として冷静に、しかし情熱をもって取り組んで行きたいものだと思います。8月4日には理事研修会も予定されています、一翼を担う覚悟で理事補佐を務めて行こうと思います。

「精神科医療の身体拘束を考える会」設立

都連副会長 松沢 勝

今年5月、日本の小中学校で英語を教えたニュージージーランド人のケリー・サベジさんが、神奈川県精神科病院（大和病院）に入院後、身体拘束を受け、10日あまりで亡くなった。「彼はなぜ死ななくてはいけなかったのか」そのニュースは世界中に発信され、日本の精神医療が世界から注目されることになった。日本では、一部マスキミのみの取扱で関心が低かった。

厚生省の調査によると、精神科病院で身体拘束を受けた人の数はここ10年で2倍近くに増加。その数は1万人を超えている。

杏林大保健学部 長谷川利夫教授を中心に、掲題「考える会」設立呼びかけがあり、ケリーさんの母親マーサ・サベジさん、浅野史郎（元宮城県知事）、堂本暁子（元千葉県知事）、池原弁護士他、DPII障害者インターナショナル、あみ、みんなねっと等が賛同して同会が2017年7月19日に設立された。同日、厚生省、外国人特派員協会での記者会見を開いた。

なお、みんなねっとではネットで電子署名を受付けているので応募して下さい。内閣総理大臣及び厚生大臣あての「改善を求める申込書」を八月中旬に提出予定。



☆賛助会費☆ (敬称略)

くるみクリニック	5	0	0	0	円
栗洲 美紀	2	0	0	0	円
心療内科アーツクリニック大崎	5	0	0	0	円
五反田メンタルクリニック	5	0	0	0	円
吉田 晴哉	2	0	0	0	円
上杉クリニック	5	0	0	0	円
高円寺クリニック	5	0	0	0	円
大倉診療所	5	0	0	0	円
土屋 米子	2	0	0	0	円
錦糸町クボタクリニック	5	0	0	0	円
天下堂医院	5	0	0	0	円
恩方病院	1	0	0	0	円
小島陽子	1	0	0	0	円
甲斐 重守	2	0	0	0	円
横山クリニック	5	0	0	0	円
幸仁クリニック	5	0	0	0	円
新小岩南口クリニック	5	0	0	0	円
板橋 仁	2	0	0	0	円
柳沢クリニック	5	0	0	0	円
山本メンタルクリニック	5	0	0	0	円
多摩病院	1	0	0	0	円
にしの木クリニック	5	0	0	0	円
野の花メンタルクリニック	5	0	0	0	円
北千住旭クリニック	5	0	0	0	円
医療法人財団 暁	1	0	0	0	円
伊勢田 堯	2	0	0	0	円
杉山クリニック	5	0	0	0	円

ありがとうございます。



講演会のお知らせ

- ☆9/2(土) 担当医と信頼関係を築くために、何が必要か? 会場: 松沢病院 大会議室
講師: やきつべの径診療所・児童精神科医 夏苺 郁子氏 主催: 世田谷さくら会 ☎03-3308-1679
- ☆9/9(土) 海外に学ぶ、地域生活への道 会場: 新宿区立障害者福祉センター
講師: みんなねっと編集長・元つくし会会長 野村 忠良氏 主催: 新宿フレンズ ☎03-3987-9788
- ☆9/16(土) 統合失調症のひきこもり
講師: 精神科医・調布市心の健康支援センター相談医員 石山 淳一氏
会場: 多摩市総合福祉センター 主催: サンクラブ多摩 ☎042-371-3380
- ☆9/27(水) 精神障害を抱える私たちが知り、くらしに活かしていけること
講師: 東京アドヴォカシー法律事務所所長 弁護士 池原 毅和氏
会場: 高円寺障害者交流館 主催: 杉並家族会 問合せ: あおば福祉会リブレ ☎03-3392-7946

※参加申込み・お問合せは、主催者までお願いします。

編集後記

暑い夏の夜十時過ぎ、電話が掛かってきた。何か悪い知らせかとドキッとする。親友のS君である。ゆっくりとした口調で「医者から正式にパーキンソン病を言い渡されました。ついては、明日の会議には出られませんが」と。当方暫く返事が出てこない。この二、三年それらしい症状がでており、ドーパミン投与と適度な運動で様子を見てきたが、時々の方策でも次第に歩行と立ち居振る舞いが難しい様子が見られて、「こころ三ヶ月会ってなかった矢先である。安易な激励は出来ない」と決めていたので「判りました。明日の会議では、皆さんには、貴君の様子を伝えます。暫くは在宅治療で通院でしょうが、奥様の云うことを聞いて下さい」。頭の良い人が方がこの病に罹りやすいのか！

この病気は難病の一つである、何とか治らないかといういろいろな治療、施術を試みて来たが、「おしんではないが我慢比べです」と彼は云っていた。彼曰く、「やり方は、色々ありますが、ジタバタしてみます」とのことであった。全国パーキンソン病友の会が各地にある旨伝えた。

都連副会長 松沢 勝